

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	マラウイ共和国
2. 案件名	マラウイ農村部における地域住民による就学前教育施設の運営と就学前教育システムの強化
3. 事業の背景と必要性	マラウイでは人口の約半数が 18 歳未満であり、将来の発展を担う人材育成のため教育の質向上が重要課題となっている。しかし、就学前教育の就学率は低く、小学校に直接入学する児童も多いため、留年率や退学率の高さ、学力の低さにつながっている。対象地域であるンカタベイ県では就学前教育施設として Community-Based Child Care Centres（CBCCs）が整備されているものの、就学前教育未経験児が約 4 割を占め、保育者の研修不足や施設運営能力の低さ、教材・カリキュラム活用の難しさなどの課題がある。前フェーズ（実施期間 2024 年 3 月～2026 年 2 月）では保育者向け教材開発や研修、行政のモニタリング体制整備、住民啓発に成果を上げた一方で、支援対象の CBCCs がモデルとして自立した運営を行えるようになるには、これらの人材育成や教材開発への支援が引き続き必要である。本事業では前フェーズの成果と課題を踏まえ、対象施設の拡大に加え、地域主体の運営強化、メンター育成、教材改訂、モニタリング機能向上を通じて、就学前教育の質と持続性の向上を目指す。
4. プロジェクト目標	対象地域における就学前教育施設の運営が地域住民との連携により改善され、就学前教育のシステムが強化される。
5. 対象地域	北部州ンカタベイ県
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	・直接受益者 県社会福祉事務所職員約 5 名、県教育事務所職員約 5 名、子ども保護員 3 名、CBCC20 施設の保育者約 60 名、地域住民 60 名、小学校 30 校の教師約 60 名 ・間接受益者 CBCC20 施設の園児約 1,000 名、小学校 30 校の児童約 2,000 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 就学前施設運営サポートブックが作成され、地域住民や子ども保護員が知識を習得し、CBCC で実践する。 2. メンターサポートブックが作成され、保育者や教師が知識を習得し、メンターが育成される。 3. 保育者サポートブックが改訂され、保育者や教師が知識を習得する。 4. モニタリングにより、CBCC の運営上の課題が解決される。 <活動> 1-1 県職員と日本人専門家が既存の地域住民による就学前教育施設運営に関する冊子の内容を確認する。 1-2 県職員と専門家が地域住民による就学前教育施設運営サポートブックを作成する。 1-3 県職員と日本人専門家が就学前教育施設運営サポートブックを用い、地域住民や子ども保護員に研修を実施する。 1-4 地域住民や子ども保護員が習得した知識を活かし CBCC での運営に生かす。 2-1 県職員と日本人専門家が既存のメンターブックの内容を確認する。 2-2 県職員と日本人専門家が確認結果を踏まえてメンターサポートブックを作成する。

	2-3 県職員と日本人専門家が保育者と教師を研修し、メンターを育成する。 3-1 県職員と日本人専門家が課題を解決するための研修内容を検討する。 3-2 県職員と日本人専門家が検討結果を基に、既存の保育者サポートブックを改正する。 3-3 県職員と日本人専門家、メンターが改正版保育者サポートブックを用い、保育者や教師に研修を実施する。 4-1 県職員が定期的に子ども保護員のモニタリングを確認する。 4-2 県職員や子ども保護員がモニタリングで挙げられた課題の解決に向けて支援する。
8. 実施期間	2026 年 9 月～2029 年 8 月（3 年 0 か月）
9. 事業費概算額	9,999 千円
10. 相手国側実施機関（カウンターパート）	相手国側カウンターパート：ンカタベイ県庁 相手国側現場実施者：ンカタベイ県社会福祉事務所、ンカタベイ県教育事務所
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	国立大学法人広島大学人間社会科学研究科
2. 主な活動内容	人間と社会のための諸科学の追求と，教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという 2 つのミッションを有し，人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち，自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材の育成を目指している。